


人権・平和・環境

# あしだかわ

**発行**  
 南部生涯学習センター(沼隈支所3階)  
 福山市沼隈町草深 1889 番地 6  
 TEL 980-7713  
 FAX 987-2382  
 Webは  
 こちらから 

E-mail: [nanbu-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:nanbu-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp)  
 福山市ホームページ (URL:<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) から「あしだかわ」で検索!

福山市南部生涯学習センター **検索**

## 報告

### 至誠校区 人権問題講演会



**かゆいところに  
手が届いたら...**  
 ~手話で、笑いのバリアフリー~  
 第一部 手話パフォーマンス (漫才など)  
 第二部 トークタイム (コミュニケーションについて)

12月8日、ぬまくま市民交流センターで、萬屋手話本舗ふ〜&み〜企画(さとう正士さん、三宅寿さん)をお招きして至誠校区人権問題講演会「かゆいところに手が届いたら・手話で、笑いのバリアフリー」を実施しました。



健聴者の「ふ〜さん」がろう者の「み〜さん」の手話を通訳しながら進行するボケもツッコミも手話での漫才と手品。聞こえる人も聞こえない人も、同じ笑いを共有できました。トークタイムでは聞こえないことで駅や人混みで出くわす危険や、逆に周囲に迷惑をかけずにコミュニケーションができることなどを教えていただきました。

ふ〜さんから「手話ができなくても、身振り手振りで簡単なコミュニケーションはとれます。大切なのは相手の立場に寄り添おうとする意識です」と話され、笑いとともに共生生活に向けてのヒントを伝えてくれました。

**「参加者アンケート 一部抜粋」**

- すごい。手話での笑い、初めての体験。
- 聞こえない人も楽しめてよかった。
- 手話は大切な言語だ、ということ、改めて感じた。
- 聞こえない立場の人に寄り添うことが大事だと理解できた。



しかくしょう とう りゆう ひと えいりもくてき のそ ろくおん てんじ かくたい みと  
 視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。

# 多様な性を知り、自分らしく生きる



## ～性同一性障害の当事者として伝えたいこと～



10月31日、瀬戸コミュニティセンターにおいて、「済美校区人権問題講演会」を行いました。今年度は、性同一性障害の当事者として、高野晶さんに、性同一性障害やLGBT・セクシャルマイノリティについてお話をさせていただきました。



### ■性別は男性、気持は…

高野さんは、性別は男性として生まれましたが、小さいころから自分の性について違和感をもっていました。男子トイレが嫌で、好きになる人は男の子でした。思春期になれば変わるかもしれないと思っていたが変わらず、「女の子の気持ちをもつ自分は、脱げない男の子の着ぐるみを着せられたようだ」と悩み、本当のことを周りの人に打ち明けたら自分は愛されなくなるのではないかという不安から自殺も考えたそうです。

### ■自分は何者？

男性として男性を愛する同性愛者（ゲイ）であることに違和感をもっていた大学生の頃、書店で「性同一性障害」について書かれた本を見つけ読んでいくうちに“心と体の性が一致しない人がある”ということを知り、自分が何者なのか、はっきりと分かって心が落ち着いたそうです。

### ■女性として

その後、性別適合手術を受け、戸籍の性別も女性に変更しました。

そして、周囲の人にカミングアウトしコミュニケーションをとることで理解してもらい、受け入れられるようになりました。

現在は、トランスジェンダー・アクティビスト（性同一性障害の社会的活動家）として、誰にも言えずに一人で自分の性に悩んでいる人たちが、思いつめて自ら命を絶つということがないようにサポートを続けておられます。また、“自分の生き方を自分で選択出来ない子どもたちのサポートが必要です。”と話されていました。



### <アンケート 一部抜粋>

- 理解し合うにはコミュニケーションが大切なことを改めて認識させられました。
- ありのままの今の自分を語っておられたと思うが、そこに至るまでの幼い頃からのしんどさもすごく伝わった。自分は、周りにもしかしたらいるかもしれない、その存在をきちんと受けとめられるだろうか。まだまだ向き合わなくては…。この問題に限らず社会が差別を助長させている。





## 南部こんなんやるDAY!

### ◆ 高島公民館 ◆

「スポーツ吹矢体験」心のであてセミナー

日時：1月16日(水)

場所：高島公民館 会議室

内容：スポーツ吹矢の体験

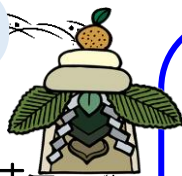
対象：おとな

講師：日本スポーツ吹矢協会

福山支部支部長 瀧川 忠明さん

問合せ・申込先：高島公民館

☎ 956-0219



### ◆ 山手コミュニティセンター ◆

行政書士等による無料相談会

相続・遺言手続き

日時：2月23日(土) 13:30~16:30

場所：山手コミュニティセンター

1階学習室

☎ 951-5679

**要予約**

## ~沼隈図書館行事のご案内~

### \*\*羊毛フェルトでつくる

私だけのコースター\*\*

日時：1月20日(日)

13:30~15:00

場所：沼隈図書館 2階 創作室

定員：15人

材料費：800円

申込み：1月7日(月) 10:00~

TEL: 987-5630

来館または電話で

### \*\*ニューイヤーコンサート\*\*

日時：1月27日(日)

11:00~11:30

場所：沼隈図書館 2階 ギャラリー

演奏：内海小学校金管バンドクラブ

演目：『こきりこの唄』ほか

## ポーノさんのささやき

### 「多文化共生社会の実現にむけて」

市内のスーパー等で買い物をされている外国人の方から「こんにちは」と気軽に挨拶され、ほっこりした気持ちになることがあります。

逆に自分から、「こんにちは」と声をかけたことがないことに気づきます。笑顔で声をかければうれしくなるのはみんな同じという意味でもこうした日々のさりげない心遣いが大切だな、と思います。

今、福山市で住民登録されている外国人市民の方は11月30日現在 9,352人です。これは、市民全体の約2%にあたり、50人に1人は外国人市民ということになります。

「人権擁護に関する世論調査2017」では、「日本に居住している外国人市民に関してどのような人権問題が起きていると思うか」という質問に対し、「風習や慣習が受け入れられないことが問題」と回答された方が44.3%でした。

言葉が聞き取れなくて伝わりにくいこともあります。言葉も環境も生活習慣も違う国で生活されてきた方々に対し、まず、『やさしい日本語』を使い、ゆっくりと、根気強く説明し続けることで、ごみの分別ルールがきちんと理解され、改善した例もあります。

「多文化交流」することで、自然に風習や習慣に馴染んでいただけるよう、町内での清掃活動や祭りなどの交流を通して、「相手を知り」「認め」互いに気持ちよく暮らせるまちづくりをめざしたいものです。





# 歴史と文化の交差点 ～歩いて 知って 伝えよう～



公民館駐車場の看板前で津之郷の歴史を伝承するため、また地域を知って、愛着を持ってもらうための取り組みについて説明されました。

12月1日、津之郷学区でまちづくり大学のフィールドワークを行いました。

始めに津之郷公民館で、学区が歴史を通してのまちづくりに取り組んでいる経過、町史の発行、看板設置、史跡めぐりマップ作製などについて説明を受けました。マップは、子どもたちに地元を知ってもらい愛着を持ってもらうため、津之郷小学校児童全員に配布したそうです。学区内の遺跡、史跡は、個人や近所の人が整備されているところもありますが、本谷砂留は、まちづくり推進委員会で学区の人に呼び掛けて年1回整備していることなどを聞きました。

その後、マップをもとに現地学習をしました。

弘法大師が再興した和光寺跡。礎石や風鐸など多く出土しています。



はい わ こうじあと でんべいじ  
廃 和光寺跡 田邊寺



7世紀後期の横穴式石室。耳環、須恵器など出土しました。



出土した鏡

坂部4号古墳

江戸時代に治山治水のために築堤され、美しい曲線形を保っています。



本谷砂留



## 《フィールドワーク行程》

廃和光寺跡田邊寺

↓  
坂部4号古墳

↓  
本谷1号古墳

↓  
本谷砂留

↓  
津之郷小学校 校庭

